PRESS RELEASE

Shaping a New Journey

KANSAI AIRPORTS

2024 年 10 月 24 日

2024 年 冬期スケジュール 国際定期便は週 1,547.5 便

～東アジア・東南アジアの増便が顕著、国際定期便 19 年比　99.6%～

関西エアポート株式会社は、国際定期便の 2024 年冬期スケジュールについて、国際旅客便における中国・東南アジア方面の一層の回復に加え、韓国方面のネットワークの拡大が進んだことから、週 1,547.5 便[*1] と、冬期スケジュールとして過去最高だった 2019 年と同程度の便数を見込んでいます（3 月ピーク時点）。その内、国際旅客便数は週 1,353 便（19 年比 96%）、国際貨物便数は週 194.5 便となっています。

2024 年冬期スケジュールの国際旅客便における主要な新しい路線については、中国方面において、天津航空（GS）が貴陽線を週 3 便にて 11 月 20 日から新規就航します。さらに、中国東方航空（MU）が武漢線を週 7 便にて新規就航し、深圳航空（ZH）が南通線を週 7 便にて復便、春秋航空（9C）が蘭州線を週 7 便にて復便します。2024 年夏期スケジュール期間中に不定期便として週 3 便で新規参入、新規就航しました青島航空（QW）の青島線は、週 4 便に増便し定期便として就航します。韓国方面においては、ジンエアー（LJ）が務安線を週 7 便にて新規就航します。東南アジア方面においては、Peach（MM）がシンガポール線を週 7 便にて 12 月 4 日から新規就航します。さらに、フィリピン航空（PR）がセブ線を週 4 便にて復便します。

韓国方面は週 366 便[*2]（19 年比 158%）、香港・マカオ方面は週 126 便（19 年比 101%）、台湾方面は週 133 便（19 年比 99%）、東南アジア方面は週 191 便（19 年比 96%）、中東方面は週 17 便（19 年比 243%）、北米方面は週 12 便（19 年比 100%）と、これら 6 方面は 2024 年夏期スケジュールに引き続き、2019 年と同程度かそれ以上の便数を見込んでいます。また、中国方面に関しても大きく回復傾向にあり、2024 年夏期スケジュールのピークから週 68 便の増（計 456 便、19 年比 76%）を見込んでいます。

なお、国際旅客便における LCC 便数は週 588 便（LCC 割合は 43%）と 2019 年冬期スケジュール実績（週 459 便（ピーク時））を上回る便数規模となっています。

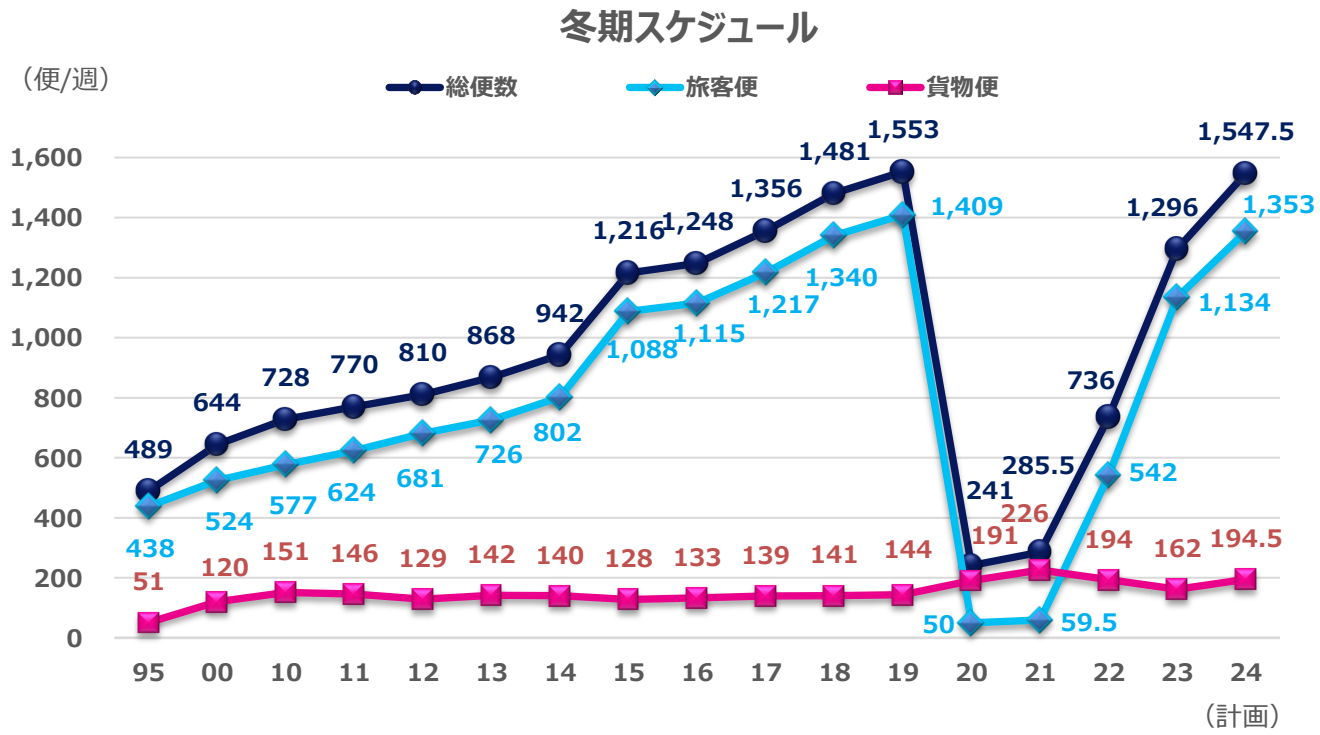
国内旅客便については、3 空港合計の 1 日あたりの便数は 287 便と、2019 年冬期スケジュール実績の 291 便（ピーク時）と同水準となっています。

[*1] 就航が確定している便数ベースで集計
[*2] 週 *366* 便は開港以来過去最高。

Thank you, Anniversary
30TH | KIX

【報道関係の方からのお問い合わせ先】
関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部
パブリックリレーション
Tel：072-455-2201

国際定期便　就航便数の推移



◇方面別便数内訳　（国際定期旅客便）

(便/週)

	19夏	(都市数)	19冬	(都市数)	22夏	(都市数)	22冬	(都市数)	23夏	(都市数)	23冬	(都市数)	24夏	(都市数)	24冬計画	(都市数)	構成比
韓国	348	(6)	232	(4)	88	(2)	239	(4)	317	(5)	349	(6)	340	(5)	366	(6)	27%
中国	494	(34)	600	(37)	6	(6)	8	(6)	215	(18)	285	(21)	388	(21)	456	(25)	34%
香港・マカオ	124	(2)	125	(2)	27	(1)	71	(1)	109	(2)	133	(2)	140	(2)	126	(2)	9%
台湾	135	(3)	134	(3)	27	(1)	79	(2)	112	(2)	119	(2)	126	(2)	133	(2)	10%
東南アジア	197	(11)	198	(11)	62	(6)	113	(7)	150	(7)	168	(7)	177	(7)	191	(8)	14%
北米	54	(5)	40	(3)	8.5	(2)	14	(3)	26	(4)	24	(3)	33	(5)	24	(3)	2%
うちハワイ	28	(1)	28	(1)	7	(1)	8	(1)	11	(1)	12	(1)	12	(1)	12	(1)	
欧州	35	(5)	30	(5)	5	(2)	5	(2)	12	(4)	18	(5)	27	(5)	19	(5)	1%
オセアニア・グアム	32	(4)	40	(5)	5	(2)	6	(2)	11	(2)	19	(3)	22	(4)	21	(4)	2%
その他*	14	(5)	10	(3)	6	(1)	7	(1)	12	(2)	19	(3)	21	(4)	17	(3)	1%
合計	**1,433**	**(75)**	**1,409**	**(73)**	**234.5**	**(23)**	**542**	**(28)**	**964**	**(46)**	**1,134**	**(52)**	**1,274**	**(55)**	**1,353**	**(58)**	**100%**
本邦社	3 社		4 社		2 社		2 社		3 社		3 社		4 社		4 社		
外航社	60 社		60 社		33 社		39 社		54 社		57 社		59 社		58 社		
運航会社	63 社		64 社		35 社		41 社		57 社		60 社		63 社		62 社		

表はピーク時における実績及び計画便数。

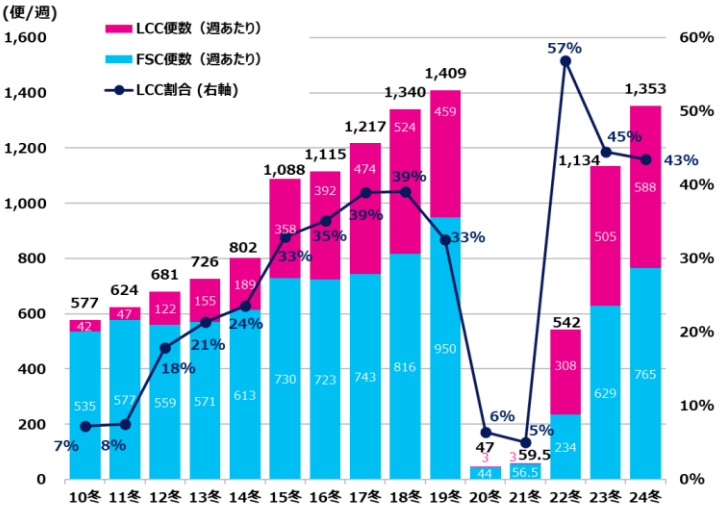
＊その他方面には、中東、インド、ネパール、極東アジアを含む。

国際定期旅客便における LCC の概況及び方面別便数

◇関空における国際線LCC：21社27都市

航空会社	路線	便数/週
ピーチ・アビエーション	ソウル（仁川）	28
(計91便)	香港	14
	台北	21
	高雄	7
	バンコク（スワンナプーム）	7
	シンガポール	7
	上海	7
ジェットスター・ジャパン	台北	14
チェジュ航空	ソウル（仁川）	28
(計56便)	ソウル（金浦）	14
	釜山	14
エアプサン	釜山	23
(計44便)	ソウル（仁川）	21
ジンエアー	ソウル（仁川）	28
(計49便)	務安	7
	釜山	14
ティーウェイ航空	ソウル（仁川）	21
(計56便)	大邱	14
	済州	7
	釜山	7
	清州	7
エアソウル	ソウル（仁川）	21
イースター航空	ソウル（仁川）	14
エアロK	清州	14
春秋航空	上海	42
(計73便)	大連	7
	寧波	7
	瀋陽	7
	西安	3
	蘭州	7
香港エクスプレス	香港	35
タイガーエア台湾	台北	15
(計18便)	高雄	3
セブ パシフィック航空	マニラ	7
(計11便)	セブ	4
フィリピン・エアアジア	マニラ	7
ベトジェットエア	ハノイ	14
(計21便)	ホーチミン	7
タイ・エアアジアX	バンコク（ドンムアン）	14
タイベトジェット	バンコク（スワンナプーム）（台北経由）	7
(計11便)	チェンマイ	4
エアアジアX	クアラルンプール（一部台北経由）	14
スクート	シンガポール	7
ジェットスターアジア	シンガポール（マニラ経由）	7
ジェットスター航空	ケアンズ	4
(計11便)	ブリスベン	4
	シドニー	3
計		588

◇国際線定期旅客便における LCC 割合の推移



2024 年冬期スケジュールでは、LCC 比率は 43%と、過去 3 番目の比率の高さとなっている。先行して回復していた LCC 便数に続いて、FSC も徐々に回復が進んでいる。

国際定期便　航空会社別就航便数

国・地域名	航空会社		2019年冬期 10/27 ～ 3/28 2020年1月（ピーク）			2024年夏期 3/31 ～ 10/26 2024年8月（ピーク）			2024年冬期 10/27 ～ 3/29 2025年3月（ピーク）		
			実績			実績			計画		
			旅客便	貨物便	合計	旅客便	貨物便	合計	旅客便	貨物便	合計
日本	JL	日本航空	42		42	24		24	24		24
	NH	全日本空輸	49	5	54	11		11	11		11
	MM	ピーチ・アビエーション	88		88	84		84	91		91
	GK	ジェットスター・ジャパン	4		4	7		7	14		14
アメリカ	UA	ユナイテッド航空	15		15	17		17	17		17
	DL	デルタ航空	7		7						
	HA	ハワイアン航空	7		7	7		7	7		7
	FX	フェデラル エクスプレス		56	56		73	73		92.5	92.5
	5X	ユナイテッド パーセル サービス		16	16		22	22		22	22
カナダ	AC	エア・カナダ				9		9			
イギリス	BA	ブリティッシュ・エアウェイズ	3		3						
ドイツ	LH	ルフトハンザ ドイツ航空	7		7	7		7	3		3
	GEC	ルフトハンザ・カーゴ		2	2						
	3S	エアロロジック					2	2		2	2
オランダ	KL	ＫＬＭオランダ航空	7		7	3		3	3		3
フランス	AF	エールフランス航空	6		6	5		5	3		3
	SB	エア カレドニア インターナショナル	2		2						
フィンランド	AY	フィンエアー	7		7	5		5	3		3
トルコ	TK	ターキッシュ エアラインズ				7		7	7		7
アラブ首長国連邦	EK	エミレーツ航空	7		7	7	2	9	7	2	9
	EY	エティハド航空				5		5	3		3
カタール	QR	カタール航空		1	1	7	1	8	7	1	8
アゼルバイジャン	7L	シルクウェイ・ウエスト・エアラインズ		2	2						
ロシア	S7	S7航空	1		1						
韓国	KE	大韓航空	42	5	47	35	5	40	42	5	47
	OZ	アシアナ航空	35	2	37	35	3	38	42	3	45
	7C	チェジュ航空	48		48	50		50	56		56
	BX	エアプサン	14		14	44		44	44		44
	ZE	イースター航空	14		14	14		14	14		14
	LJ	ジンエアー	13		13	42		42	49		49
	TW	ティーウェイ航空	38		38	56		56	56		56
	RS	エアソウル	13		13	22		22	21		21
	RF	エアDK				14		14	14		14
中国	CA	中国国際航空	63		63	35		35	35		35
	CAO	中国国際貨運航空		6	6					2	2
	MU	中国東方航空	82		82	49		49	56		56
	CK	中国貨運航空		5	5		2	2		2	2
	CZ	中国南方航空	61		61	28		28	36		36
	MF	厦門航空	27		27	21		21	21		21
	FM	上海航空	7		7	7		7	14		14
	Y8	金鵬航空		5	5						
	CF	中国貨運郵政航空		10	10		12	12		14	14
	ZH	深圳航空	56		56	42		42	56		56
	SC	山東航空	28		28	35	7	42	35	7	42
	9C	春秋航空	69		69	56		56	73		73
	HO	上海吉祥航空	77		77	63		63	63		63
	GS	天津航空	21		21	7		7	14		14
	HT	天津貨物航空								1	1
	JD	北京首都航空	4		4	3		3	3		3
	BK	奥凱航空	8		8						
	3U	四川航空	14	3	17	7	3	10	7	3	10
	HU	海南航空	16		16	7		7	7		7
	O3	順豊航空					6	6		8	8
	GJ	長竜航空	4		4	7		7	7		7
	i9	中州航空								3	3
	QW	青島航空							4		4
	GI	中原龍浩航空								5	5
香港	CX	キャセイパシフィック航空	34	4	38	35	4	39	35	4	39
	UO	香港エクスプレス	31		31	35		35	35		35
	HX	香港航空	20		20	21		21	21		21
	RH	香港貨運航空					2	2		4	4
	HB	グレーターベイ航空				21		21	14		14
	LD	エアホンコン		6	6		6	6		6	6
マカオ	NX	マカオ航空	14		14	7		7	7		7
台湾	BR	エバー航空	35	3	38	28	3	31	28	3	31
	CI	チャイナ エアライン	41	13	54	31	4	35	31	5	36
	IT	タイガーエア台湾	16		16	21		21	18		18
	JX	スターラックス航空				14		14	14		14
フィリピン	PR	フィリピン航空	21		21	14		14	18		18
	5J	セブ パシフィック航空	7		7	7		7	11		11
	Z2	フィリピン・エアアジア	7		7	9		9	7		7
ベトナム	VN	ベトナム航空	21		21	14		14	14		14
	VJ	ベトジェットエア	14		14	21		21	21		21
タイ	TG	タイ国際航空	14		14	14		14	14		14
	XJ	タイ・エアアジアX	14		14	11		11	14		14
	XW	ノックスクート	6		6						
	SL	タイ・ライオン・エア	5		5						
	VZ	タイベトジェット				11		11	11		11
マレーシア	MH	マレーシア航空	7		7	6		6	7		7
	D7	エアアジアX	18		18	14		14	14		14
	OD	バティックエアー マレーシア				7		7	4		4
シンガポール	SQ	シンガポール航空	21		21	21		21	21		21
	3K	ジェットスター・アジア航空	23		23	7		7	7		7
	TR	スクート	10		10	7		7	7		7
インドネシア	GA	ガルーダ・インドネシア航空	7		7						
ネパール	RA	ネパール航空	2		2						
オーストラリア	QF	カンタス航空	5		5						
	JQ	ジェットスター航空	7		7	12		12	11		11
ニュージーランド	NZ	ニュージーランド航空	3		3						
モンゴル	OM	MIATモンゴル航空				2		2			
合　計		週間就航便数	1,409	144	1,553	1,274	156	1,430	1,353	194.5	1,547.5
		1日あたり就航便数	201.3/日	20.6/日	221.9/日	182.0/日	22.3/日	204.3/日	193.3/日	27.8/日	221.1/日
		運航会社数	64社	17社	74社	63社	17社	70社	62社	21社	74社
		就航国（地域）数	21ヶ国	21ヶ国	25ヶ国	20ヶ国	15ヶ国	22ヶ国	18ヶ国	22ヶ国	24ヶ国
		就航都市数	73都市	46都市	91都市	56都市	35都市	71都市	58都市	46都市	76都市

＊　関西エアポート(株)調べのため、政府認可申請中の便や、申請前の計画便も含まれる。

＊　本資料中、共同運航便（コードシェア便）は運航会社で整理。

国内定期旅客便　就航便数

地域	都市	ITAMI							KIX									KOBE							
		2023年冬期（実績）	2024年夏期（実績）	2024冬期（計画）					2023年冬期（実績）	2024年夏期（実績）	2024冬期（計画）							2023年冬期（実績）	2024年夏期（実績）	2024冬期（計画）					
				計	JAL	ANA	IBEX	AMX			計	JAL	JTA	ANA	SFJ	peach	Jetstar			計	ANA	SKY	Skymark	AIR DO	FDA
北海道	札幌（新千歳）	12	13	10	4	6			15	15	15	2		4		7	2	6	7	7	1	4		2	
	釧路									1															
	女満別		1																						
	函館	3	2	2	1	1																			
東北	青森	7	7	7	4	3												1	1	1					1
信越	三沢	1	1	1	1																				
	秋田	6	6	6	3	3																			
	花巻	4	4	4	4													1	1	1					1
	山形	3	3	3	3																				
	仙台	14	13	14	7	5	2		3	3	3					3		2	2	2		2			
	福島	4	4	4		2	2																		
	新潟	10	10	10	4	4	2		1	1															
	松本																	2	2	2					2
関東	成田	2	2	2	1	1			8	7	6					2	4								
	羽田	30	30	30	15	15			12	12	12	3		5	4			8	9	8	2	6			
	茨城																	3	3	3		3			
近畿	但馬	2	2	2	2																				
中国	隠岐	1		1	1																				
四国	出雲	4	4	4	4																				
	松山	11	11	10	2	8																			
	高知	6	6	6		6												1	1						
九州	福岡	10	9	11	4	6	1		4	4	5					5									
	長崎	8	8	8	4	4			1	1	1					1		3	3	3		3			
	熊本	11	11	11	4	6		1																	
	大分	5	6	7	3	3	1																		
	宮崎	10	10	11	5	6			1	1	1					1									
	鹿児島	14	14	14	8	5	1		2	2	2					2		2	2	2		2			
	屋久島	1	1	1	1																				
	種子島		1									▲													
	奄美大島	1	1	1	1					1	1					1									
沖縄	那覇	5	5	5	2	3			13	14	13		3	4		4	2	7	8	7		4	3		
	石垣								4	4	4		1	1		2									
	宮古								2	3	2		1	1											
	下地島																	1	1	1		1			
1日あたり便数	（実績）	185	185	-	-	-	-	-	66	69	-	-	-	-	-	-	-	37	40	-	-	-	-	-	-
	（計画）	-	-	185	88	87	9	1	-	-	65	5	5	15	4	28	8	-	-	37	3	25	3	2	4
就航都市数		26	27	26	24	18	6	1	12	14	12	2	3	5	1	10	3	12	12	11	2	8	1	1	3

＊臨時便・チャーター便を除く。
＊各期のピーク時点便数を記載。（2024冬期のピークは11月）
＊小数点以下便数は、片道運航であることを示す。
▲種子島は年末年始に一部運航あり。
■大阪国際空港 就航会社･･･日本航空（JAL）、全日本空輸（ANA）、アイベックスエアラインズ（IBEX）、天草エアライン（AMX）
■関西国際空港 就航会社･･･日本航空（JAL）、日本トランスオーシャン航空（JTA）、全日本空輸（ANA）、スターフライヤー（SFJ）、ピーチ･アビエーション（APJ）、ジェットスター･ジャパン（JJP）
■神戸空港 就航会社･･･全日本空輸（ANA）、スカイマーク（SKY）、ソラシドエア（SNJ）、AIRDO（ADO）、フジドリームエアラインズ（FDA）

Shaping a New Journey

KANSAI AIRPORTS

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% [1]
代表者	代表取締役社長　CEO　　山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO　ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長　CEO　　山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO　ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		

ORIX

オリックスグループについて

1964 年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約 30 カ国・地域において、約 35,000 人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。この Purpose を軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は https://www.orix.co.jp/grp/ をご覧ください。

VINCI AIRPORTS

世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、13 か国において 70 以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で 2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016 年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

[1] 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱ＵＦＪ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

2024年度上半期　利用状況　及び
2024年 冬期スケジュールについて

2024.10.24

Shaping a New Journey

KANSAI AIRPORTS

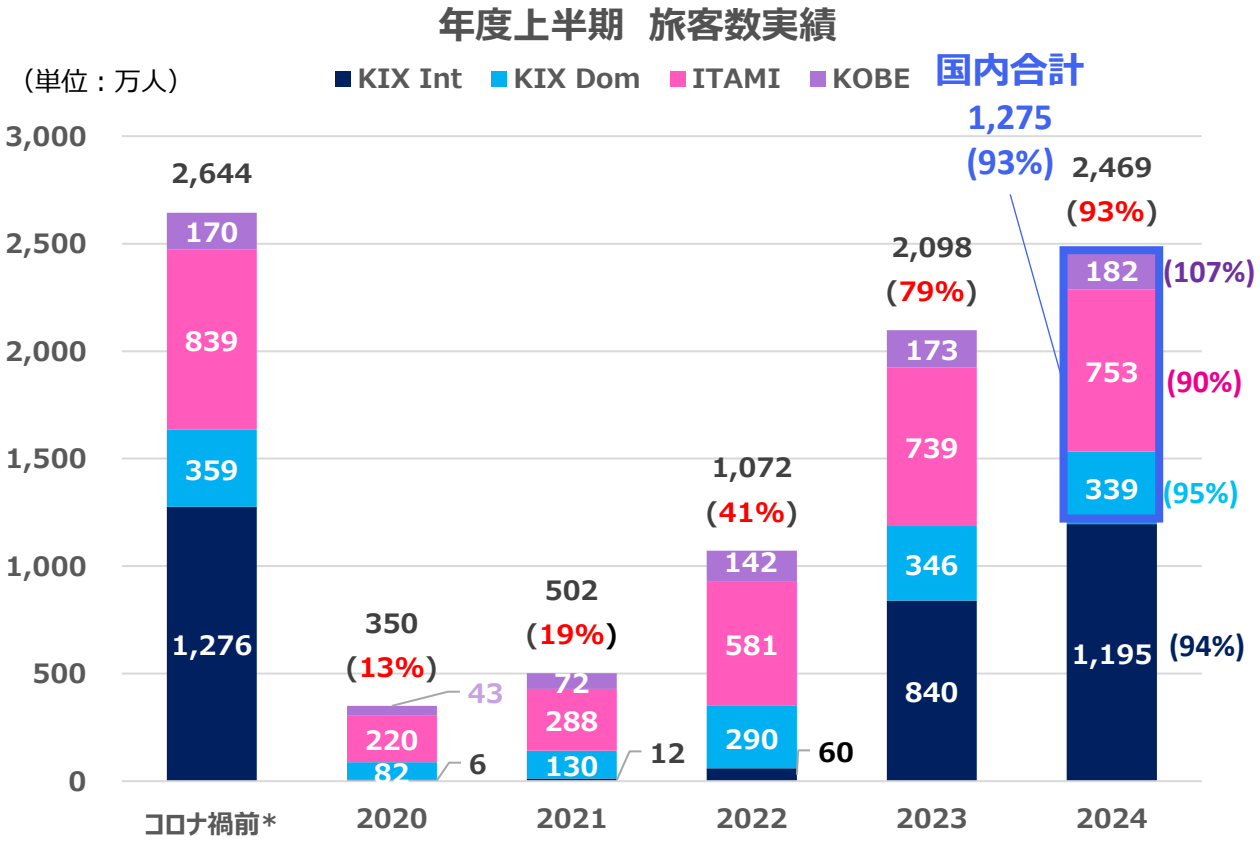
目次

- 2024年度上半期　利用状況　（4月-9月）
- 2024年冬期スケジュールについて

2024年度上半期　利用状況（4月-9月）

3空港　旅客数利用実績（2024年度 上半期）

2024年度上半期の3空港合計の総旅客数は2,469万人（2019年同期比　93%）



* 2019年4月～2019年9月の合計。(　)内の数値はコロナ禍前からの回復率を表示。

（注）　表中の合計は、端数処理の関係上、単純計算値とは一部一致しておりません。

- 国際線旅客数は、主に東アジア及び東南アジアからの外国人インバウンド旅客に牽引され、1,195万人（2019年同期比 94%）まで増加。うち外国人旅客数は946万人（同 109%）　で、開港以来過去最高を記録した。
- 国内線旅客数は、1,275万人（2019年比 93%）と前年から微増。
- 2024年度上半期における神戸空港の旅客数は182万人と、2019年8月の規制緩和による増便等もあり、開港以来過去最高を記録した。（これまでの過去最高は*2023*年度上半期の*173*万人。）

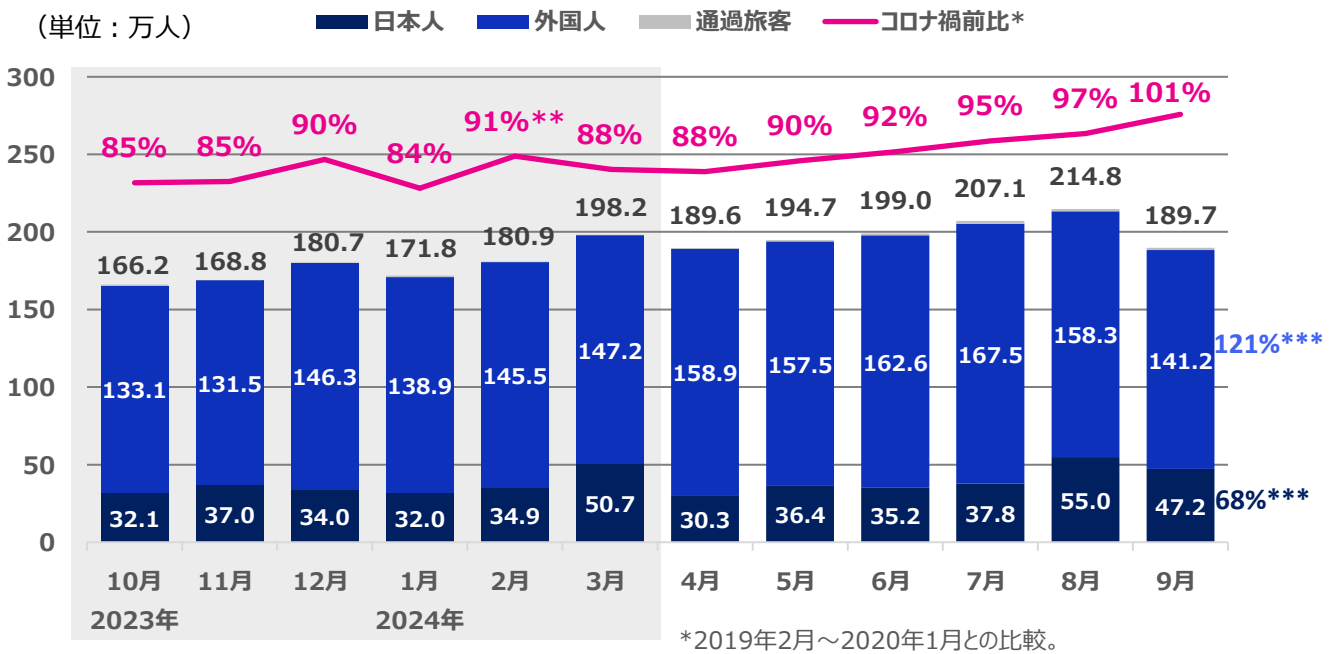
出典：関西エアポート利用状況

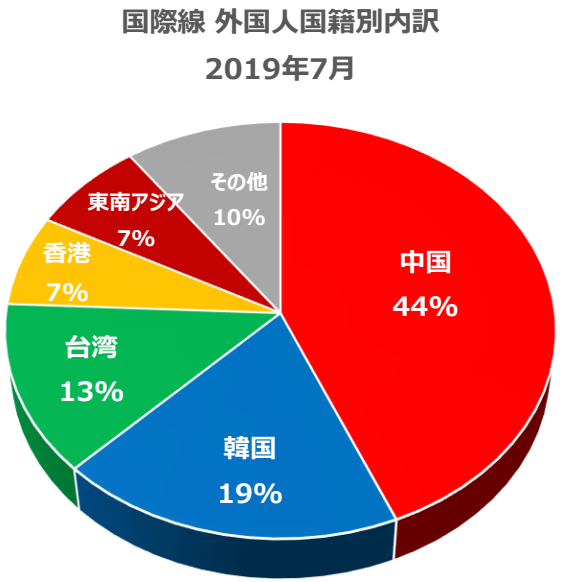
KIX国際線旅客数（2024年度 上半期）

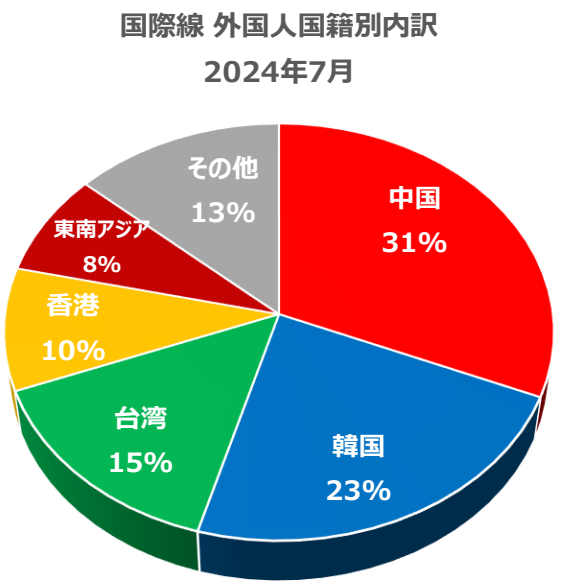
2024年度上半期も外国人旅客を中心に旅客数が増加

- インバウンド（外国人）は9月で121%まで伸長。
- アウトバウンド（日本人）は9月で68%まで回復。
- 中国人旅行者も徐々に回復しており、直近7月には中国人が関西空港のインバウンドの1位となった。

国際線　日本人/外国人/通過旅客数 直近推移







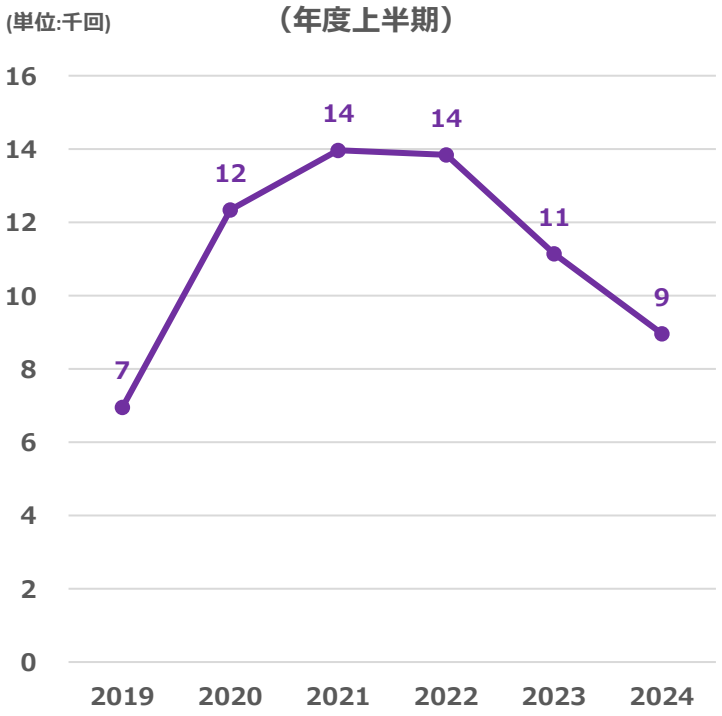
*2019年2月～2020年1月との比較。
**2024年は閏年ですが、月間の総数を用いて比較しています。
***2024年9月における日本人、外国人の2019年9月比。2019年9月は、
韓国方面は外交問題、香港方面は民主化デモ発生による需要の落ち込みがあった。

出典：関西エアポート利用状況
出入国在留管理庁

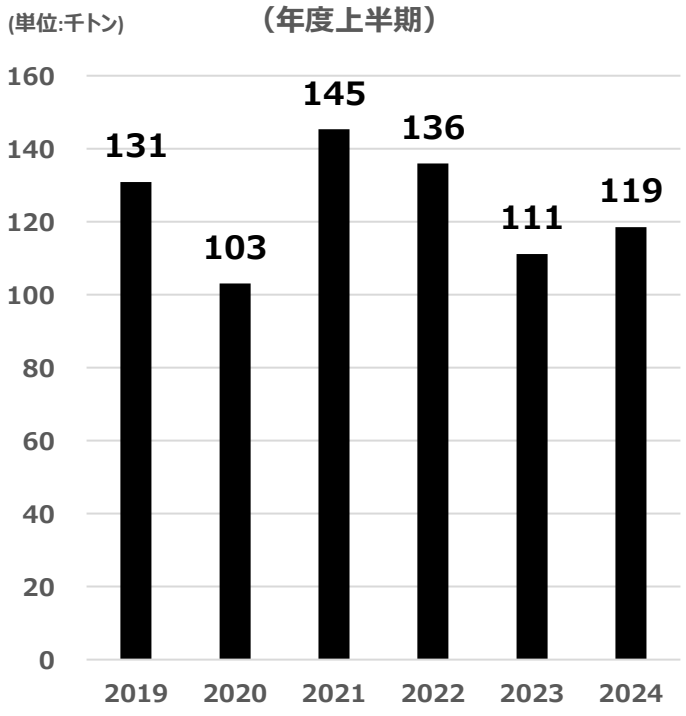
KIX国際線貨物実績（2024年度 上半期）

KIXの国際線貨物便発着回数は約9千回、コロナ禍の過去４年を下回るものの2019年同期比では高水準を維持

過去6か年における国際線貨物便発着回数推移



過去6か年における国際線貨物取扱量推移

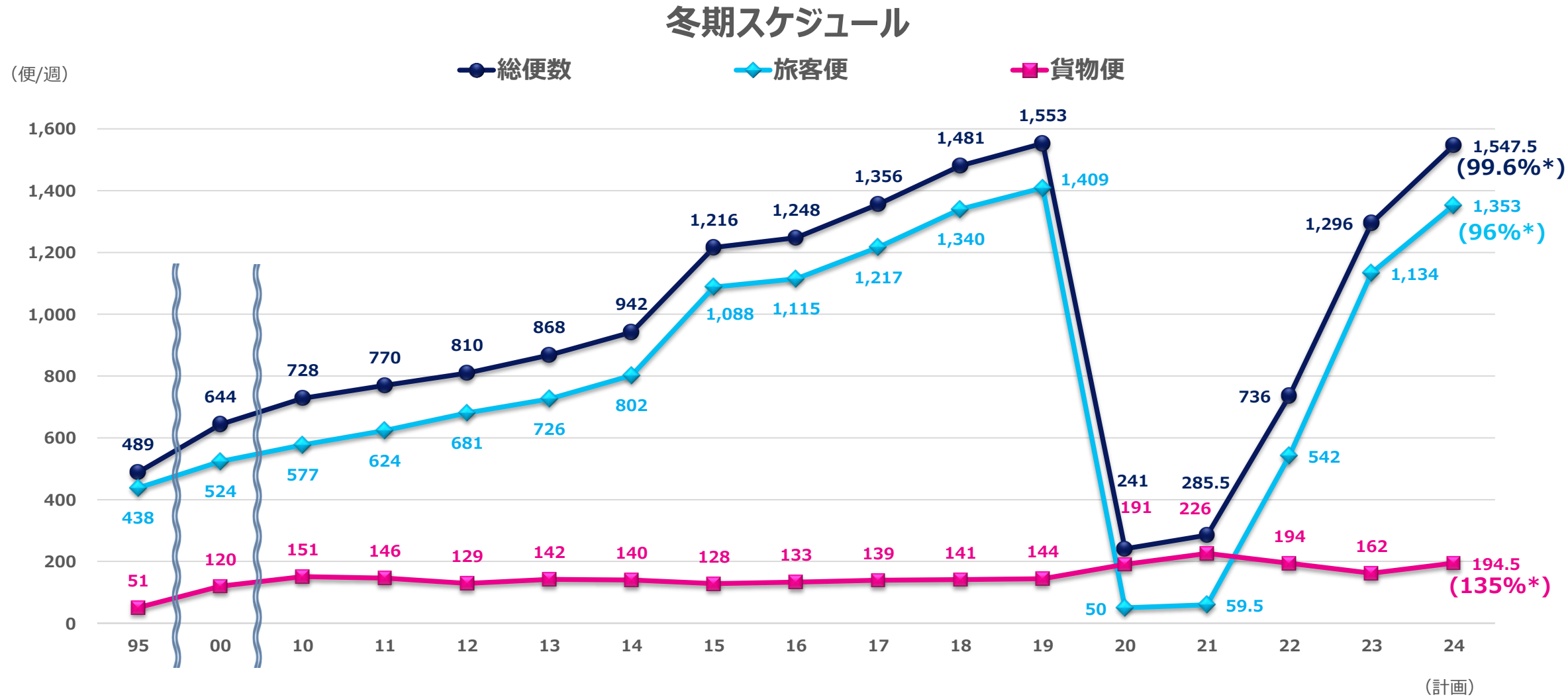


- 旅客便の復便に伴うベリーカーゴスペースの増加に伴い、発着回数は減少傾向。
- 国際貨物取扱量は、前年同期間と比較すると7%の増。
- 世界の他地域と同様に、国際貨物取扱量はEコマース関連需要の高まりや、上向きな経済の影響を受け、前年同期比増になったとみられる。

出典：関西エアポート利用状況
大阪税関

2024年冬期スケジュールについて

関西国際空港における
2024年冬期スケジュール国際定期便 就航便数



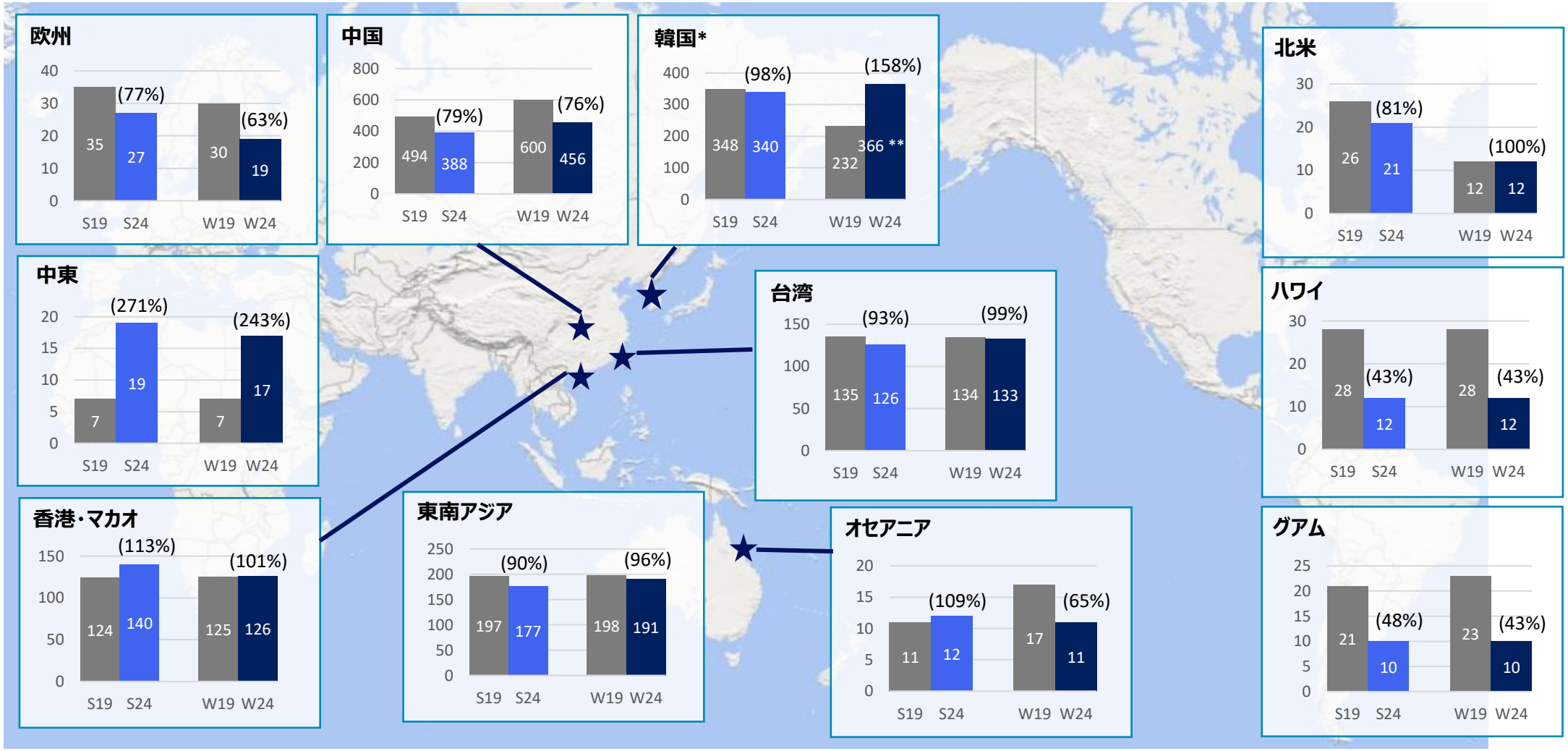
※各スケジュール、ピーク月の便数を記載
2024年冬期スケジュールは2025年3月の計画便数

*2019年冬期スケジュール比

国際旅客定期便
2024年冬期スケジュール想定便数（国・地域別）

- S24 は2024年夏期スケジュールにおける9/30現在のピーク便数（８月）
- W24 は2024年冬期スケジュールの3月の計画便数
- グラフ中（)内の数値は2019年夏期/冬期スケジュールとの同期比較の便数の回復率

W24：*1,353*便（W19比*96%*）62社 58地点 S24：*1,274*便（S19比*89%*）63社 56地点



＊ 2019年冬期スケジュール実績は外交問題の影響により韓国方面の便数が落ち込んでいた。

＊＊ 週366便は開港以来過去最高。

国際旅客定期便　国・地域別国際線ネットワーク　(ヨーロッパ・中東・北米・オセアニア)

国際旅客定期便　国・地域別国際線ネットワーク　(アジア地域)

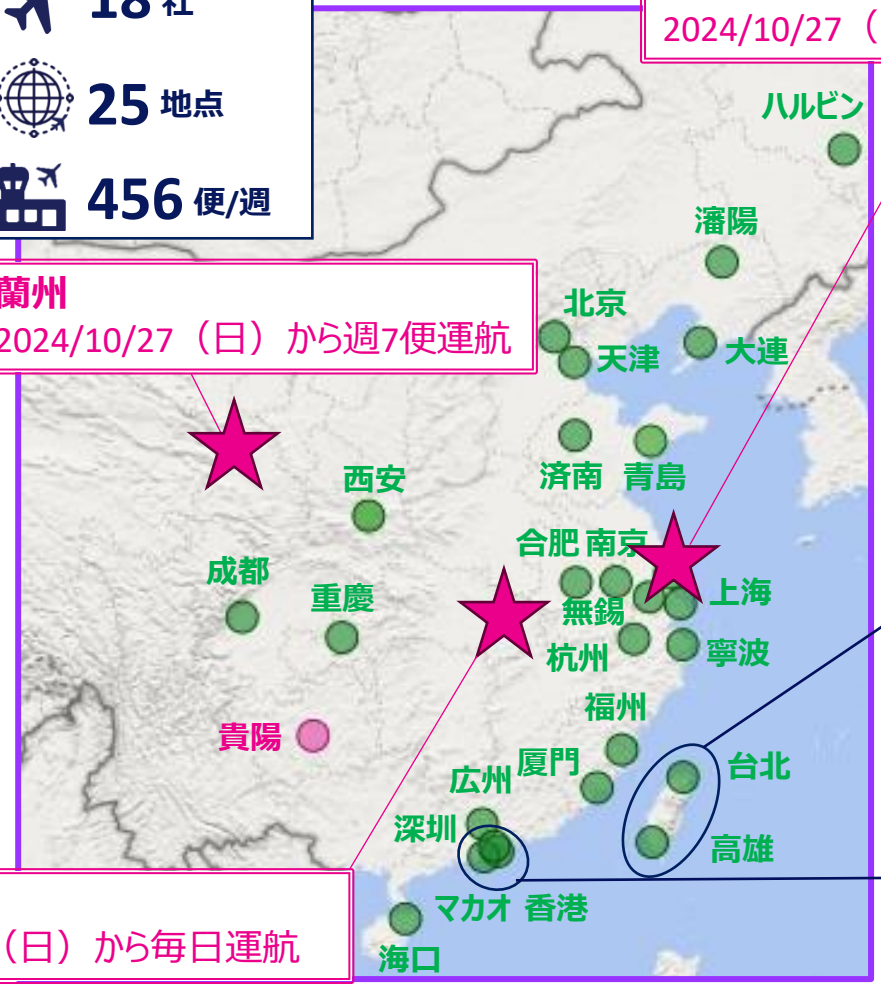
デスティネーション定義

- ★ W24に予定されている新規路線・再開する路線
- ● S24に新規就航または再開した路線
- ● 既存路線

東南アジア
- 16 社
- 8 地点
- 191 便/週

韓国
- 10 社
- 6 地点
- 366 便/週

中国
- 18 社
- 25 地点
- 456 便/週



台湾
- 6 社
- 2 地点
- 133 便/週

香港・マカオ
- 6 社
- 2 地点
- 126 便/週

2024年冬スケジュールにおける主な新規就航路線

青島
7月25日
新規 *(週3便)
青島航空

南通
10月27日
復便(週7便)
深圳航空

蘭州（上海経由）
10月27日
復便 (週7便)
春秋航空

務安
12月2日
新規（週7便）
ジンエアー

セブ
12月22日
復便（週4便）
フィリピン航空

セブ
10月15日
新規（週4便）
セブパシフィック航空

武漢
10月27日
新規 (週7便)
中国東方航空

貴陽
11月20日
新規（週3便）
天津航空

シンガポール
12月４日
新規（週7便）
Peach

ピンク： 新規路線･就航

黄色：運航再開

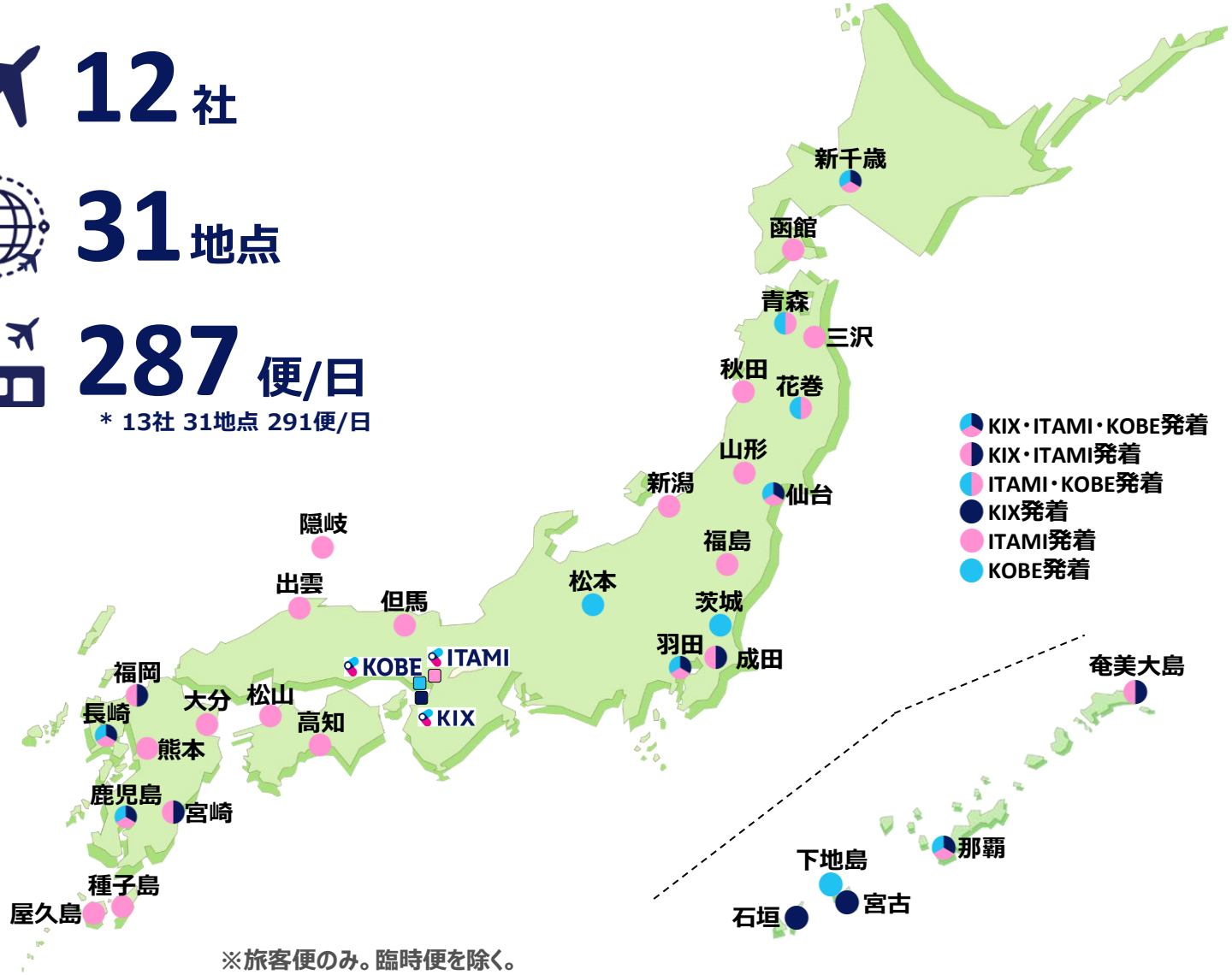
＊2024年夏スケジュール期間中に、不定期便で新規就航。2024年冬スケジュールから、週4便に増便及び定期便化の予定。

国内旅客定期便 国内線ネットワーク (2024年冬期スケジュール)

12社

31地点

287便/日
＊ 13社 31地点 291便/日



※旅客便のみ。臨時便を除く。

KIX
6社 12地点 65便/日
＊ 6社 17地点 70便/日

- スターフライヤー
- ジェットスター・ジャパン
- 日本航空
- ピーチアビエーション
- 全日本空輸
- 日本トランスオーシャン航空

ITAMI
4社 26地点 185便/日
＊ 5社 26地点 185便/日
＊＊2021年から日本エアコミューターはJAL便名で運航

- IBEXエアラインズ
- 日本航空＊＊
- 天草エアライン
- 全日本空輸

KOBE
5社 11地点 37便/日
＊ 5社 10地点 36便/日

- ソラシドエア
- スカイマーク
- AIRDO
- フジドリームエアラインズ
- 全日本空輸

＊ 2019年冬期スケジュール実績

参考資料

国際旅客便 増便一覧（2024年夏期スケジュール比）

国・地域別	航空会社	路線	便／週 24夏		24冬	増便数／週	備考
中国	春秋航空	蘭州（上海経由）	0	→	7	+7	10/27 復便
中国	春秋航空	寧波	4	→	7	+3	
中国	春秋航空	上海	35	→	42	+7	
中国	春秋航空	瀋陽	3	→	7	+4	
中国	中国南方航空	広州	9	→	14	+5	
中国	中国南方航空	北京（大興）	4	→	7	+3	
中国	上海航空	上海	7	→	14	+7	
中国	天津航空	貴陽	0	→	3	+3	11/20 新規就航
中国	天津航空	天津	7	→	11	+4	
中国	日本航空	上海	3	→	7	+4	
中国	中国東方航空	武漢	0	→	7	+7	10/27 新規就航
中国	青島航空	青島	0	→	4	+4	※定期便化
中国	深圳航空	南通	0	→	7	+7	10/27 復便
中国	深圳航空	深圳	7	→	14	+7	
韓国	チェジュ航空	ソウル（仁川）	22	→	28	+6	
韓国	大韓航空	ソウル（仁川）	21	→	28	+7	
韓国	ジンエアー	務安	0	→	7	+7	12/2 新規就航
韓国	ジンエアー	釜山	7	→	14	+7	
韓国	アシアナ航空	ソウル（仁川）	21	→	28	+7	
台湾	ジェットスター・ジャパン	台北	7	→	14	+7	
台湾	ピーチアビエーション	台北	14	→	21	+7	
東南アジア	ｾﾌﾞ・ﾊﾟｼﾌｨｯｸ航空	セブ	0	→	4	+4	10/15 新規就航
東南アジア	マレーシア航空	クアラルンプール	6	→	7	+1	
東南アジア	ピーチアビエーション	シンガポール	0	→	7	+7	12/4 新規就航
東南アジア	フィリピン航空	セブ	0	→	4	+4	12/22 復便
東南アジア	タイ・エアアジアＸ	バンコク（ドンムアン）	0	→	14	+14	
		合　計	1274	→	1353	+79	

*ピーク時点の比較